



地震・津波災害への救援・復興急ぎ、原発なくせ
まちから村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう

第25回日本高齢者大会が青森で開かれる

9/12(月)~13(火)青森市で第25回日本高齢者大会が開催されました。全国から2日間で、のべ4500人が参加しました。和歌山県からは東牟婁をはじめ、県内各地から16人が参加しました。第1日目は、10の学習講座、11分科会、4移動分科会が行なわれました。東日本大震災の被害と復旧・復興の学習講座に参加したTさんは、「神戸大学工学部・塩崎賢明教授の話は、阪神・淡路大震災との復興を対比させながら、東日本大震災は、超広域性災害と複合災害の特徴があり、復興をより困難なものにしている。被災者の生活再建を復興の第1の目的にして諸課題に取り組む必要を明らかにしました。」2日目は全体会が行なわれ、記念講演は、東北



大学名誉教授・日野秀逸氏が「東日本大震災が高齢期運動に問いかけるもの—憲法を足場に生業と生活の再建を」のテーマで講演しました。日野氏は「半世紀に2度(チリ地震津波と今回)の大震災を経験し、今回の東日本大震災は地震・大津波、そして原発事故が連続的に起きた人類史上初めての経験。日本社会の深刻な弱点と、日本をどのような社会にすべきかを教えた。」とのべ、「9条と25条を土台にした共同と協同の力を最大限発揮することが重要である。」と話しました。大会は、野田政権がすすめる「税と社会保障一体改革」を阻止し、被災者本位の震災復興と原発ゼロの日本をつくることなどを確認して閉会しました。来年は、香川県高松で開催されます。

10月スタートで間に合います!! いますぐ応募を

この秋 健康づくりに
トライしませんか?
健康づくりチャレンジ2011
(期間) 2011年9月1日~11月30日
(3カ月のうち続けて60日以上)

肥満、過労、運動不足、ストレス、たばこ、飲酒…などが原因で現代人の多くに生活習慣病やその予備軍が若い人も含め広がっています。気にはしているが、改善できないのが現状です。そこで和歌山中央医療生活協同組合では、運動や食生活の改善など3カ月間目標を持って日々取り組み、健康な人がより健康になる運動に取り組みます。ぜひあなたも今すぐ登録しませんか。3カ月間(のうち、続けて60日以上)、少し気持ちを切りかえれば誰にでも出来る。楽しく、お金のかからない正しい健康法です。生活習慣病で治療中の人、気軽に参加していただけます。

- 記念品や参加賞もあります
- 和歌山中央医療生活協同組合
〒640-8390 和歌山県青本138-14
FAX 073-476-4288
- ①ウォーキング
 - ②転倒予防
 - ③筋トレ
 - ④食事
 - ⑤ダイエット
 - ⑥禁煙
 - ⑦お酒
 - ⑧歯磨き
 - ⑨好きなこと

医療生協九条の会が地域署名行動

9条県民の会全県一斉署名行動の呼びかけを受け、9月11日(日)、医療生協九条の会は有本地域(600~700番台)に署名行動に入りました。午前10時から約1時間、7名で98件訪問、47件と対話し、署名68筆を集めました。事前に署名への協力お願いビラを配布していたので、署名をして準備してくれていたところが多かった(但し家族で1人だけとか多かったのは残念)のと、「7. 9和歌山空襲にあった、話聞きたかったら又来てください」といわれた家、「戦争の流れになるとその流れにつきすんでしまうもの、昔もそうだった、署名するのがむなしい」と言われる家もありました。

	性別		20~	年齢										参加コース										
	男	女		~19	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80~	不明	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計	
東	7	23	13	0	0	1	2	8	8	12	1	2	34	東	5	7	7	5	8	0	1	7	16	56
中	4	28	22	0	0	0	0	4	10	16	2	0	32	中	11	10	8	2	1	0	2	3	22	59
南	11	40	46	0	0	0	3	2	22	17	2	5	51	南										0
河西	19	87	76	0	4	2	11	10	40	31	8	0	106	河西	41	16	19	5	13	2	11	15	44	166
那賀	9	35	8	0	5	4	7	10	18	2	1	5	52	那賀	10	1	12	0	5	0	1	3	16	48
海南海草	1	10	0	0	1	1	0	0	4	4	1	0	11	海南海草	3	1	3	0	4	0	0	4	5	20
総参加数	51	223	165	0	10	8	23	34	102	82	15	12	286	総参加数	70	35	49	12	31	2	15	32	103	349